

平成28年度（2016）

学校関係者評価報告書

穴吹デザイン専門学校

# 学校関係者評価報告書

穴吹デザイン専門学校 学校関係者評価委員会は、平成27年度学校自己評価に基づく学校関係者評価を実施致しましたので、報告致します。

平成28年12月7日  
穴吹デザイン専門学校  
学校関係者評価委員会

## 1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通じて、穴吹デザイン専門学校の自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、穴吹デザイン専門学校が行った教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

## 2. 学校関係者評価委員会

(委員)

岡野 康明	松川町町内会 会長
寺崎 光	元 広島県立広島工業高等学校 校長
川上 佳代	有限会社 コンセプトワーク 代表取締役
山岡 修	同窓会 会長
	株式会社 NINInbaori ディレクター
竹田 綾子	保護者会 会長

(学校教職員)

河原 富夫	穴吹デザイン専門学校 校長
尾崎 隆一	穴吹デザイン専門学校 副校長 兼 教務部長
三好 徹也	穴吹デザイン専門学校 事務局長代理
西尾 通哲	穴吹デザイン専門学校 教務課長

## 3. 学校関係者評価委員会実施日時

開催日時 平成28年12月7日(水) 14:00～16:00

開催場所 穴吹デザイン専門学校 A602教室

## 4. 自己評価結果の説明・報告(自己評価報告書参照)

当校の「教育理念」、「目的」及び「平成27年度の目標と計画」について説明。各種アンケート結果を報告し、その後各自己評価項目について「評価結果(総括)」、と「取組状況とその分析」、「今後の改善方策等」について報告。書式は、穴吹カレッジグループ所定の様式にて実施。

各評価項目について、「A」十分である 「B」おおむね十分である 「C」やや不十分である 「D」不十分である の4段階にて評価。

## 5. 意見交換、質疑応答

### ●各種アンケート結果報告について

- ・保護者アンケート「学校行事が充実している」の質問項目について前年度は評価が低かったが、積極的なイベントの告知等に取り組むことで評価が上がった。
- ・保護者アンケート「ウェブサイトで学校の様子をよくチェックした」唯一この質問項目のみ「まあまあ」という評価になった。保護者世代に対しての情報提供の仕方について工夫する必要がある。
- ・保護者アンケートの案内の仕方について郵送で行っていたが、以前の委員会で指摘いただき学生に手渡して案内したことでアンケートの回答率が78%まで上がった。
- ・本校への意見について自由記入項目についてどんな内容があったか？  
→学校に対してお礼の言葉や就職に関するサポートについて物足りなかったという内容のものもあった。

### ●年度の目標と計画

#### ○マンガ・イラスト学科（通信課程）について

- ・学ぶ内容が専門職に関することなので、分からないところが随時質問できる昼間課程が充実すればするほど通信課程と比較されてしまうのではないか。
- ・年間120時間以上の面接授業が必要というのは時間数が多いという印象をもった。
- ・通信制の学校でも鍼灸など資格が取れるものは人気がある。
- ・通信制高校を選択するのも高校卒の資格が得られるからという理由が大きい。

### ●学習成果

#### ○アクティブラーニングについて

- ・学生が自発的に取り組むような授業をより展開するべきではないか。  
→好きなことをやりたいと思って入学する学生が多いので、他のいろんな学校に比べると熱心な学生は多いが、これから入学してくる学生はアクティブラーニングを経験してきているので専門学校も対応が必要である。
- ・アクティブラーニングは答えが1つでないものには有効だが、なんでもアクティブラーニングでとなると弊害が出てくる。
- ・大阪芸大では全国で幅広く公募するデザインコンペを学生も運営に関わりながら実施している。受賞者は年齢、国籍に関係なく選考され、地域貢献と合わせて実施され学生の成長にも貢献している。学生が運営に関われるデザインコンペを実施してはどうか。

### ●教育環境

#### ○インターンシップについて

- ・学生は先輩やOBの方の話をよく聞くので、そういった方の意見を取り入れることがいい。
- ・インターンシップに来ている学生を見ても、常に表現を考えている学生と授業だけの学生とでは差がある。

### ●学生支援

#### ○就職支援について

- ・採用試験の際に見せるポートフォリオは、上手く描けたものではなく業界が求めている技量を表現できている作品を入れている方が効果的であり、採用の判断がしやすい。
- ・グラフィックデザインの分野では即実践投入を意識しすぎて、学生の考え方やビジョンを持つ力が弱くなっている。

#### ○保護者への周知について

- ・世代による違いはあるが、ホームページのご案内を別途してもらえれば見る機会が増えるかもしれない。
- ・保護者としては、就職活動に関することに関心がある
- ・保護者のメールアドレスを確認できていれば、就職活動に関する報告も一括して発信することも可能になる。

本日は貴重なご意見を賜り誠にありがとうございました。これからも皆様のご期待に添えますよう、教職員一同、日々努力して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

以上